

次世代を対象とした SDGs人材育成活動の探究と実践

SDGs文化祭における
ユースの学びの支援プログラムと成果について

目次

- 自己紹介と共同運営者の紹介
- SDGs文化祭とは
- プログラム紹介
- まとめ





自己紹介と共同運営者の紹介

自己紹介

・松井 晋作 (まつい しんさく)

・大学院修了後、高校教員として10年間従事。その後、多摩大学を経て、現在、桐蔭横浜大学教育研究開発機構専任講師、桐蔭学園トランジションセンターマネージャー。

・一般社団法人ESD TOKYO共同代表理事。学校と社会をつなぐコーディネート事業や教育プログラム開発、教育効果検証ツール、カリキュラム・マネジメント事業等の多数実績あり。

・研究分野は、教育社会学。特にESD（持続可能な開発のための教育）、GCED（地球市民教育）、SDGsの実践と研究。中等教育を対象とした教育データ分析や授業改善、ICTを活用した授業実践など。



SDGs文化祭 共同運営者

□ 一般社団法人ESD TOKYO
共同代表理事 **総合運営**
私立高等学校教員 佐藤 駿介氏



□ 関東地方ESD活動支援センター
運営サポート



関東地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

□ EMPOWER Project / ボイス・オブ・ユース
大学生メンター





SDGs文化祭とは

SDGs文化祭 背景



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

2019年より実施
今年は2回目

【企画背景】

本企画は、SDGsに興味のある生徒を集め、協働して実践・発表の場を設けるものです。SDGsに興味があっても周囲に仲間がいない生徒や、学ぶ機会の少ない生徒に、積極的にSDGsに関わる場所を提供しています。

⇒**SDGsに取り組む = 意識高い系として学校内では少数派**

2020年度は、またコロナ禍の影響により学校内外での生徒の活動の場が減少している時期だからこそ実施する価値があると考え、オンラインを活用して開催しました。⇒**発表の場所が中高生にはほとんどない**



SDGs文化祭 特徴

【本企画の特徴】

① 中高生による横の繋がりづくり

学校の枠を越えて企画立案・運営することで、意志を持った生徒を結び付け、日本におけるSDGsの推進を加速させていきたい。

② 中高生と大学生の縦の繋がり強化

中高生と大学生がSDGsの推進と一緒に取り組むことによって、学校種を越えた新しい教育のデザインを示します。

年齢を越えた協働の学びのためのメンター制度の確立

③ 生徒主体の発信

あくまでも生徒を主体とし、大人は場を提供するだけ、というスタンスを取っています。そのため、いわゆる賞は設けず、あくまでも取り組んだことを評価します。文化祭のように、それぞれが自分の興味の下に、様々な実践と発表を行っていきます。



SDGs文化祭 プログラム設計

□ 募集人数 対象者

✓30～40名 中高生のみ 3～4名に1名のメンター

□ 全6～7回プログラム

- ①キックオフMTG
- ②個人SDGs事例プレゼン
- ③フィールドワーク（オンラインも含む）
- ④グルーピング
- ⑤中間発表(2020年度より実施)
- ⑥文化祭当日
- ⑦リフレクション

□ 同期・非同期型ラーニング

✓連絡手段はGoogleメール・LINE・Slack

✓メンターとのやり取りはSlack・ZOOM

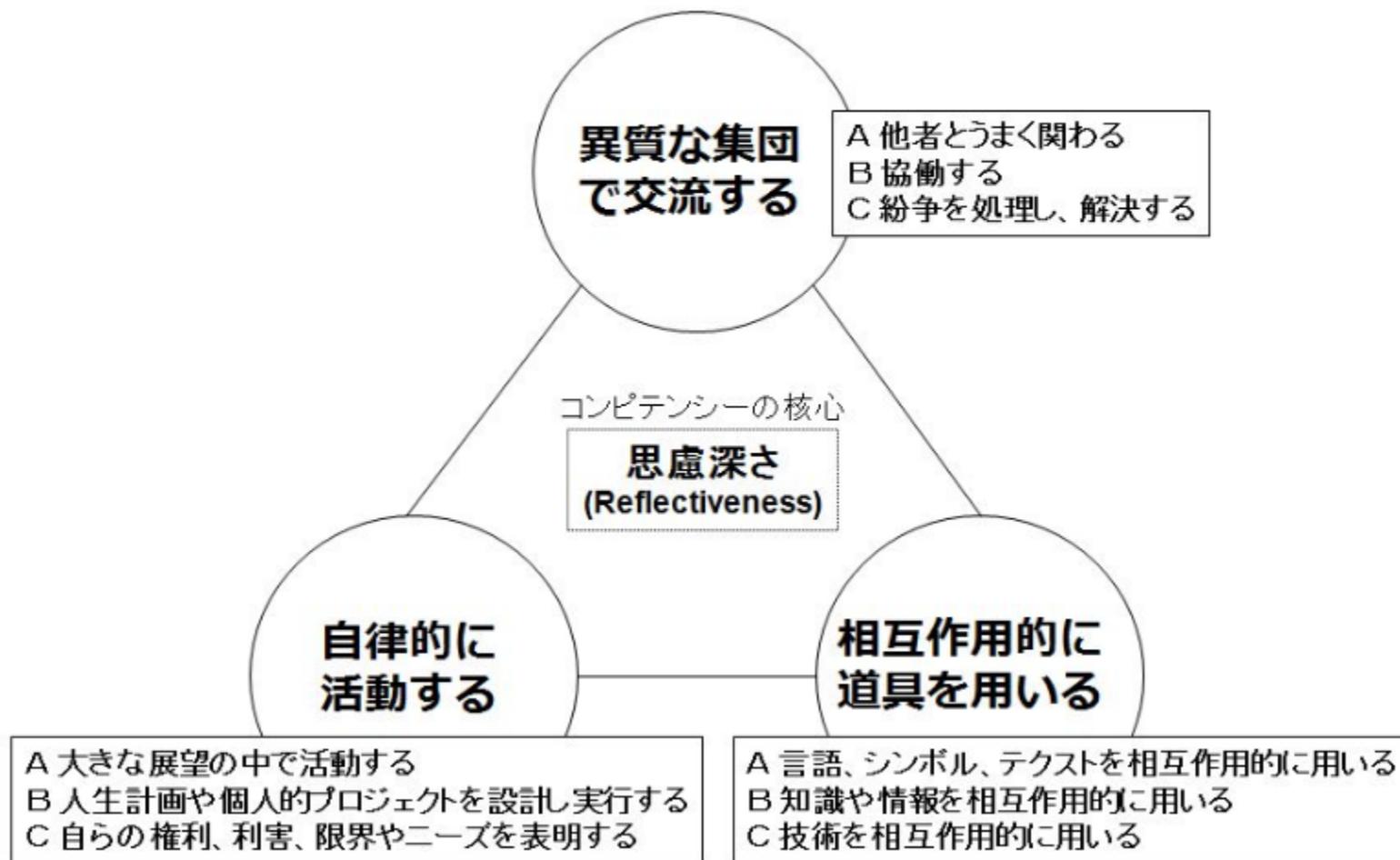
□ フィードバック・アクション

✓大人との対話を意識(インプット→アウトプット→インプット)

✓リフレクション後は必ずアクションへ



図 3つのキー・コンピテンシー



国立教育政策研究所 「キー・コンピテンシーの生涯学習政策指標としての活用可能性に関する調査研究」
https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div03-shogai-lnk1.html



プログラム紹介

SDGs文化祭 プログラム紹介①

アイスブレイク 自己紹介ワールドカフェ
→ハーベスト・リフレクション



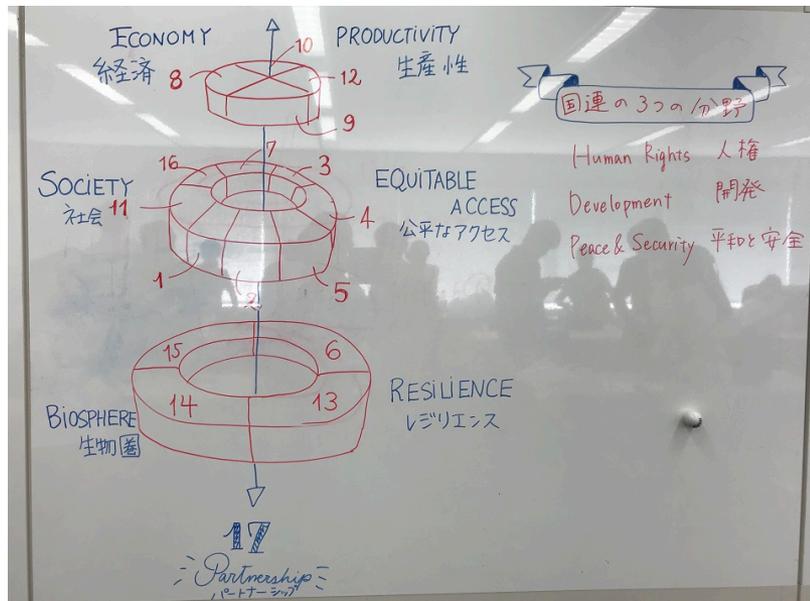
ロールモデル・ラーニング



SDGs文化祭 プログラム紹介②-1

□ 内化→外化→内化の学びのサイクル

① インプット



社会とのつながり

世界中の「人」・「金」を集中し、**結果**に繋げる

- ・ 開発途上国 + 先進国
- ・ 市民社会・企業の巻き込み (当事者も)

→異なる目標・ターゲットが互いに**関連**していることも

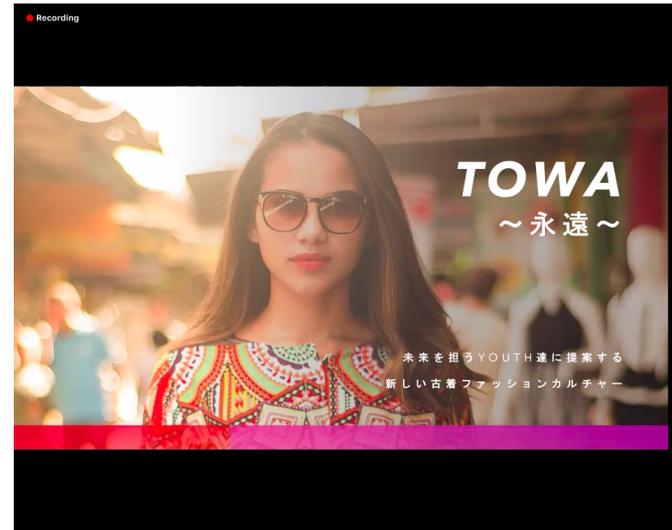
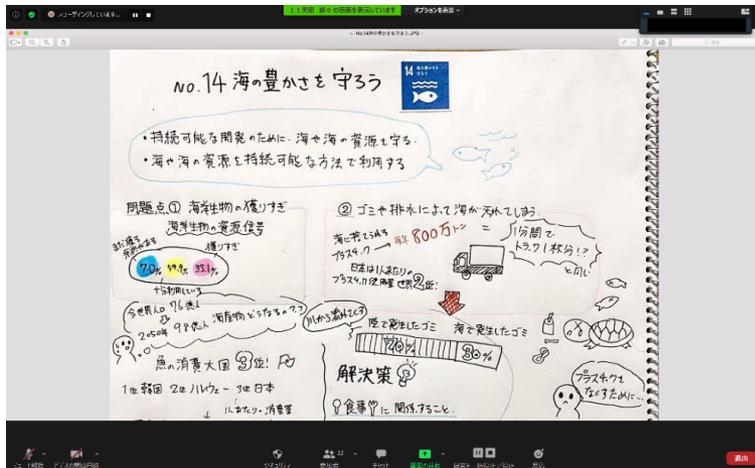
誰一人取り残さない

2020-06-28 13:32:14



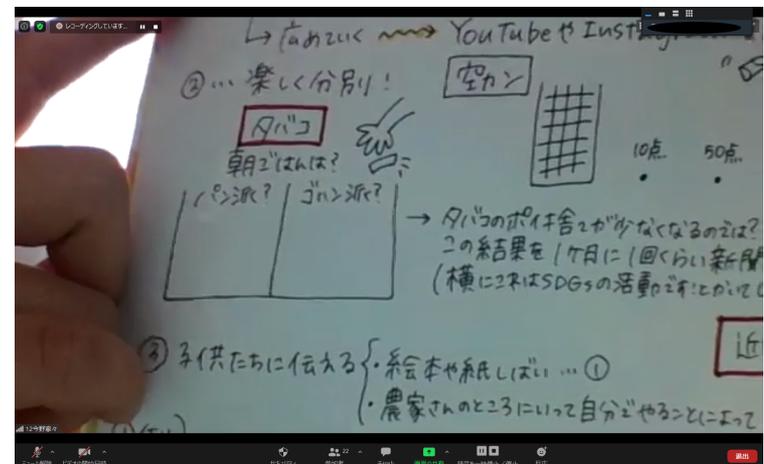
SDGs文化祭 プログラム紹介②-2

②アウトプット



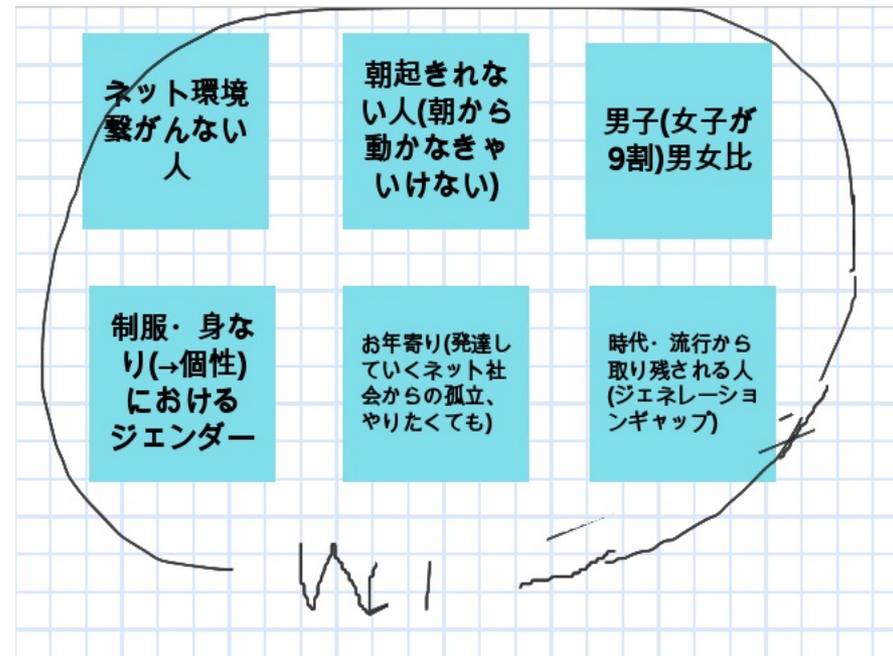
特徴

- 1ポスター1目標にのみ焦点を当て、ポスターを作成。
→一つの分野について深く掘えるようにするため。
- 作成したポスターの内容に合った場所に掲示。
- SDGsに関するWebサイトやSNSアカウントのQRコードを利用。



SDGs文化祭 プログラム紹介②-3

③インプット



国連事務局長からCOVID-19の今
子供を守るために

<https://www.youtube.com/watch?v=MQMxP0LCo4w&list=PLNe0pDYSfDivs2l1HA5rHXitm7NFPWy-G&index=15&t=0s>



SDGs文化祭 プログラム紹介③-1

□ フィールドワーク×リアル



SDGs文化祭 プログラム紹介③-2

□ フィールドワーク×オンライン



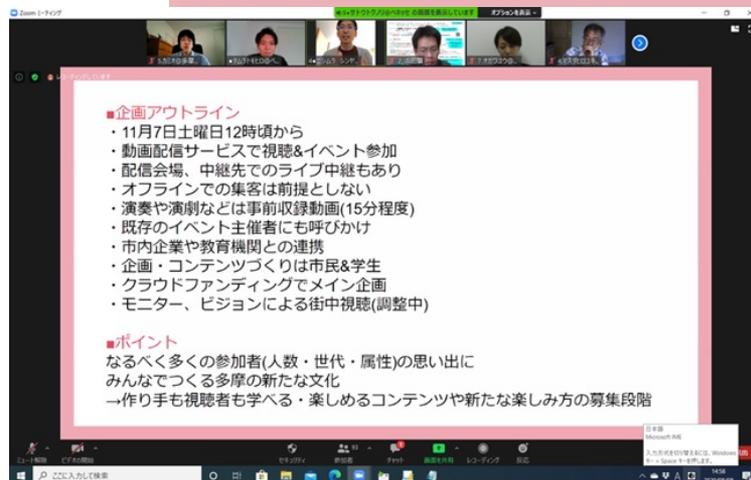
セッション2の進め方 14:25~14:50

「地域における学校を越えた教育の在り方とは」

1. テーマオーナーから自己紹介
2. メモ担当者を決める!
3. テーマオーナーから、テーマの共有
4. 積極的にディスカッション&手書きメモ!
5. メモは、書き終わったらスマホで撮影してメールで送って下さい!



edcamp.tama@gmail.com



SDGs文化祭 プログラム紹介④-1

□ 文化祭本番 (ポスター発表 = アクションプラン発表)



「やったあ！これでやっとおじいちゃんのだりを返せる！」
ニックは見事正解を言い当てました。
子供達さんが問題の説明してくれるよう

★こども達さんの地球にやさしい豆知識
日本では約100万トンの衣服が廃棄さ
んだ。こんなに廃棄量が出る原因は衣服
生産・大量消費にあるんだ。ファッション
ではこの状況を変えるために、衣服の生
産、消費までの過程において、環境・社
会に対して最大限に配慮されている衣服
サステイナブルファッションへの取り組
みを進めているよ。
今回の問題では、そんな衣服の大量廃棄
避ける方法を問われていたね。ニックが
ように、使わなくなった洋服は捨てる以外にも
リサイクルや寄付など地球にやさしい整理の仕
方があるんだ！



SDGs文化祭 プログラム紹介④-2

2019年

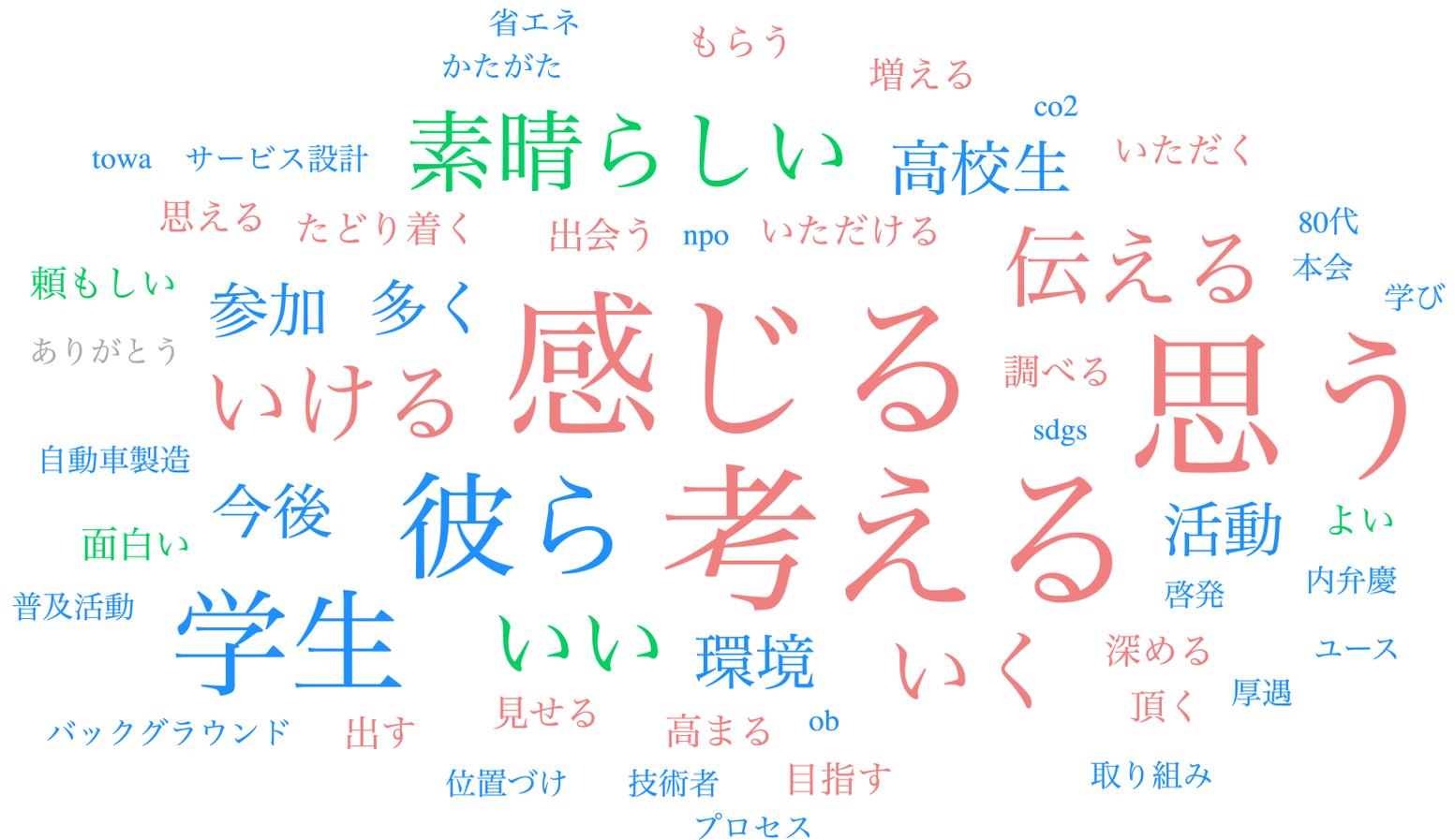
- ①街の価値 ②公共施設で取り組むSDGs ~SDGsを知ってもらうには~
- ③フェアトレードについて ④SDGs広報活動~3つの視点から~
- ⑤食品ロスを減らすために
- ⑥ちょっと優しい日本の未来~ライフスタイルの多様性~
- ⑦様々な立場から考えた受動喫煙問題解決プラン
- ⑧難民問題とSDGs ⑨安心号機
- ⑩海と持続可能な未来 11 海と環境の関わり

2020年

- ①Support to Change
- ②国内の外国人支援におけるVoYJでの発信
- ③絵本プロジェクト ④海外への手助け
- ⑤TOWA ⑥環境にいいことをtwitterを使って広める



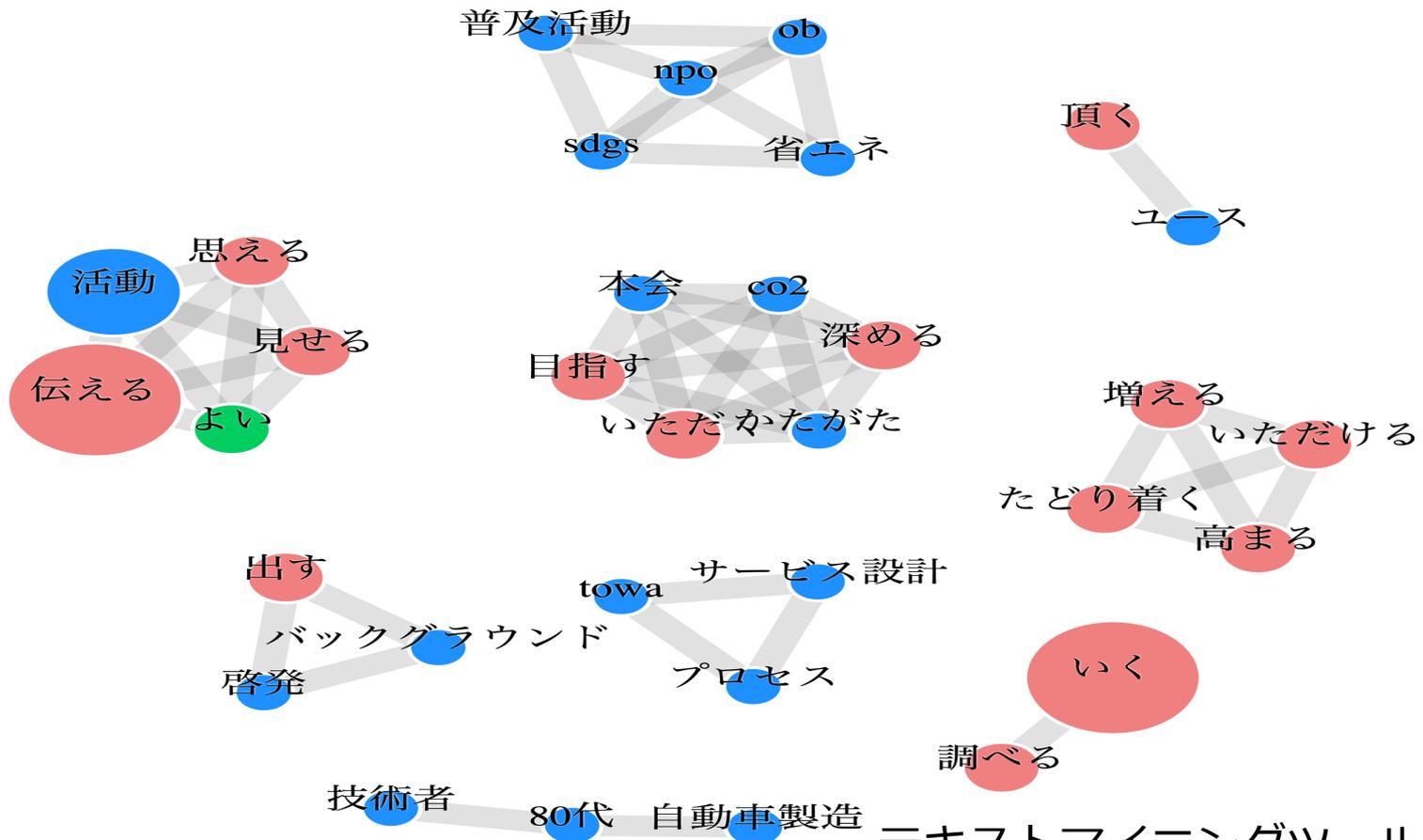
SDGs文化祭の感想：ワードクラウド



テキストマイニングツール
<https://textmining.userlocal.jp>



SDGs文化祭の感想：共起ネットワーク



テキストマイニングツール
<https://textmining.userlocal.jp>

まとめ

まとめ

□ 重要な要素

- ✓ユースの発信を支援する仕組みが重要(場所とメンター)
- ✓学びのプログラムのPBLとフィールドワークの質担保
- ✓大人の立ち入り領域の境界線を明確にする

□ 課題点

- ✓ワークショップはオンラインでは難しいため、対面も含めたハイフレックス型で進める必要あり(熱と空気感)
- ✓「誰一人取り残さない」をネット環境有無により実現できない(デバイスやネット環境に左右される)



ご清聴ありがとうございました

ご質問・ご連絡・本日の資料が欲しい方はこちらまで
s.matsui@toin.ac.jp

詳細は関東地方ESD活動支援センターHP参照ください
<https://kanto.esdcenter.jp>

